

# 2026年3月期 決算説明会

**中国工業株式会社**

証券番号 5974

## 目次

内 容	ページ
1. 会社概要等	1
2. 2026年3月期 決算概要	5
3. 2027年3月期 業績予想	11
4. 「中期経営計画」(2025年3月期～2027年3月期)について	13
5. 「資本コストや株価を意識した経営の実現」について	19
6. 株主還元	23
7. サステナビリティ、及び社会貢献活動	25

# 1. 会社概要等

## 会社概要

会社名	中国工業株式会社
代表者	代表取締役社長 中野 敏
本社	広島県呉市（登記上の住所：広島市中区小町）
業種	LPGガス容器等金属製品の製造・販売
設立	1950年10月
従業員数	連結 376人（2026年3月末、グループ）
生産拠点	本社工場である広島県呉市
主たる営業拠点	東京、仙台、大阪、広島、福岡
連結子会社	中鋼運輸株式会社（運送業） 高圧プラント検査株式会社 （高圧ガス設備の設計施行及び検査）

## 沿革

1950年10月	中国工業株式会社設立、呉市広町の旧軍施設（現呉工場）において、一般鉄構製品の製造を開始。
1955年6月	高圧ガス容器の製造を開始。
1959年6月	中国鋼材株式会社（現 中鋼運輸株式会社）を設立。一般区域貨物運送業を開始。
1961年11月	東京証券取引所に上場。
1985年2月	高圧プラント検査株式会社を設立。高圧ガスプラントの検査及び配管工事を開始。
2007年6月	本社及び製造部門を対象にISO14001の認証取得。
2022年4月	東京証券取引所の市場再編に伴いスタンダード市場へ移行。

## 主要取扱製品 (高圧機器製品)



鋼製及びアルミ合金製LPガス容器



LPガスバルク型容器



LPガスバルク貯槽



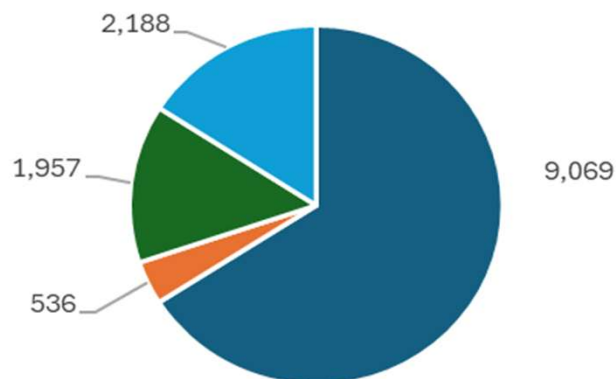
特殊容器 (液化塩素)



特殊容器 (ジクロロシラン)

2026年3月期 セグメント別売上高 (百万円)

■ 高圧機器 ■ 鉄構機器 ■ 施設機器 ■ 運送事業



LPガス充填所

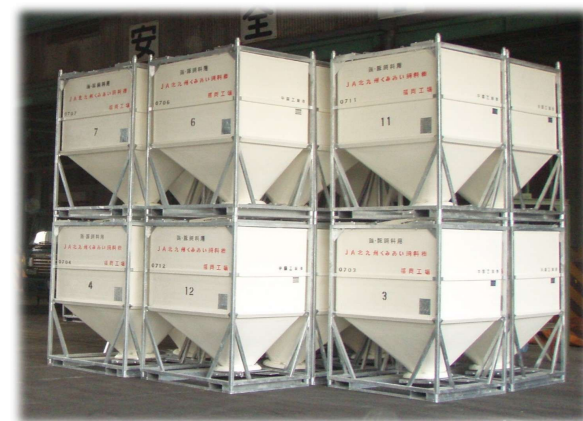
## 主要取扱製品 (鉄構機器製品、施設機器製品)



ステンレス鋼製インナーカバー (輸送時)



F R P 製貯蔵タンク



F R P 製コンテナ



特殊変圧器用容器



飼料用米粉砕添加装置



養魚飼料搬送設備

## 2. 2026年3月期 決算概要

## 2026年3月期 業績ハイライト

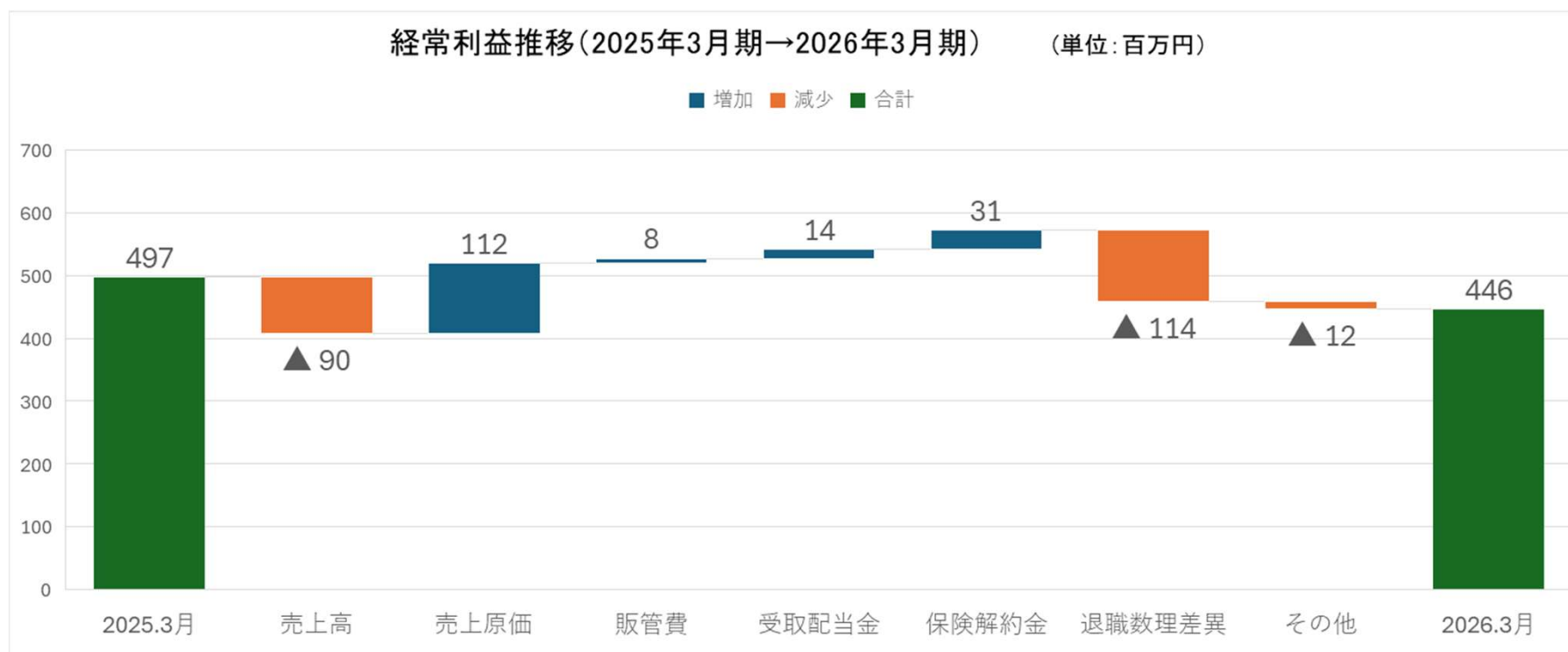
2026年3月期は前年度対比で全般的に利益は減少しました。特殊要因を除けば、2025年3月期と比べると同程度の利益水準となりました。

(百万円)

決算年月	2025/3	2026/3	増減額	増減率
売上高 (百万円)	13,843	13,752	-91	-0.3%
営業利益 〃	415	330	-85	-20%
経常利益 〃	497	446	-51	-20%
親会社株主に帰属する 当期純利益 〃	376	312	-64	-23%
ROE (%)	7.2	5.5	-1.70	-
PBR (倍)	0.31	0.47	0.16	-
自己資本比率 (%)	43.3	45.9	2.65	-

## 経常利益における増減要因

2026年3月期の経常利益は、前期対比▲51百万円となりました。  
前期は退職給付債務に関する数理計算上の差異（退職給付債務の減少額114百万円）を営業費用の減額として一括処理しました。前期対比の減益要因はそれに起因するものです。



## セグメント別の状況

当社の主力事業である、高圧機器事業を中心にここ数年同じような売上構成割合となっています。各部門とも、売上高は横這い推移する中、コスト削減・効率化に努めております。

(単位：百万円)

セグメント		高圧機器事業	鉄構機器事業	施設機器事業	運送事業	調整額	合計
2024/3	売上高	8,859	524	1,680	2,268		13,332
	営業利益	519	32	114	11	-471	206
2025/3	売上高	9,421	512	1,722	2,187		13,843
	営業利益	718	44	117	4	-470	415
2026/3	売上高	9,069	536	1,957	2,188		13,752
	営業利益	633	24	144	10	-483	330
増減額	売上高	-352	24	235	1		-91
	営業利益	-85	-20	27	6	-13	-85

## 上期・下期損益の状況（2026年3月期を含む損益の状況）

当社グループは、主たる事業である高圧機器事業のLPガス容器の需要が、下期（秋から冬）に集中する傾向があり、通年での業績は安定しているものの、例年、上期が赤字となることが多く、2026年3月期も同様となりました。

LPガス容器以外の製品の販売への取組み強化等により上期・下期の偏りを緩和していくことは課題の一つと捉えております。

（単位：百万円）

	2024年3月期			2025年3月期			2026年3月期		
	上期	下期	合計	上期	下期	合計	上期	下期	合計
売上高	5,328	8,004	13,332	5,944	7,899	13,843	5,753	7,999	13,752
営業利益	-238	444	206	-118	533	415	-123	453	330
経常利益	-199	481	282	-72	569	497	-42	488	446
当期純利益	-117	346	229	-71	465	394	-14	345	331

## 連結貸借対照表、キャッシュフロー

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減	増減率
資産合計	<b>12,449</b>	<b>12,996</b>	547	4.4%
流動資産	6,181	6,289	108	1.7%
有形固定資産	3,766	3,742	-24	-0.6%
無形固定資産	125	104	-21	-16.8%
投資その他の資産	2,375	2,858	483	20.3%
負債	6,582	6,506	-76	-1.2%
流動負債	4,198	4,038	-160	-3.8%
固定負債	2,383	2,467	84	3.5%
純資産	5,866	6,489	623	10.6%
負債＋純資産合計	<b>12,449</b>	<b>12,996</b>	547	4.4%
自己資本	5,383	5,963	580	
自己資本比率	43%	46%	2.7%	
営業活動によるCF	1,017	700	-317	
投資活動によるCF	-205	-130	75	
財務活動によるCF	-833	-214	619	
有利子負債残高	1,393	1,296	-97	
債務償還年数	1.5	2.0	0.5	
インタレスト・カバレッジ・レシオ	92	72	-20	

### 3. 2027年3月期 業績予想

## 2027年3月期 業績予想

売上高は、主力製品のLPガス事業や施設機器事業を中心に前期に比べ増加が見込まれるものの、石油関係資材等の調達懸念も生じつつあり、今後、不透明感が増すことも予想されます。かかる状況の中、諸資材の仕入れ価格上昇に対応した販売価格引上げや業務効率化により、可能な限り利益拡大を増加を図っていく所存です。

(単位：百万円)

決算年月		2026/3	2027/3	増減額	増減率
売上高	(百万円)	13,752	14,000	248	1.8%
営業利益	〃	330	350	20	6.1%
経常利益	〃	446	450	4	0.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	〃	312	270	-42	-13.5%
ROE	(%)	5.5%	6.0%	0.50%	-
PBR	(倍)	0.47	0.60	0.13	-
自己資本比率	(%)	45.9%	46.5%	0.6%	-

セグメント	売上高	構成比
高圧機器事業	9,250	66.1%
鉄構機器事業	550	3.9%
施設機器事業	2,000	14.3%
運送事業	2,200	15.7%
合計	14,000	100.0%

## 4. 「中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）」について

## 中期経営計画（2025年3月期、2026年3月期、2027年3月期）および経過年度の実績の対比

中期経営計画について、概ね計画に沿った進捗となっております。

### 【中期経営計画】

(百万円)

決算期	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
2025年3月期	13,500	250	320	210	61円40銭
2026年3月期	14,000	330	410	220	63円
2027年3月期	13,800	300	330	220	65円

### 【実績】

決算期	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
2025年3月期	13,843	415	497	376	115円83銭
差異	+343	+165	+177	+166	+54円83銭
2026年3月期	13,752	330	446	312	95円92銭
差異	-248	+0	+36	+92	+30円92銭

## 「中期経営計画」実現に向けた対応方針、及び対応状況の評価

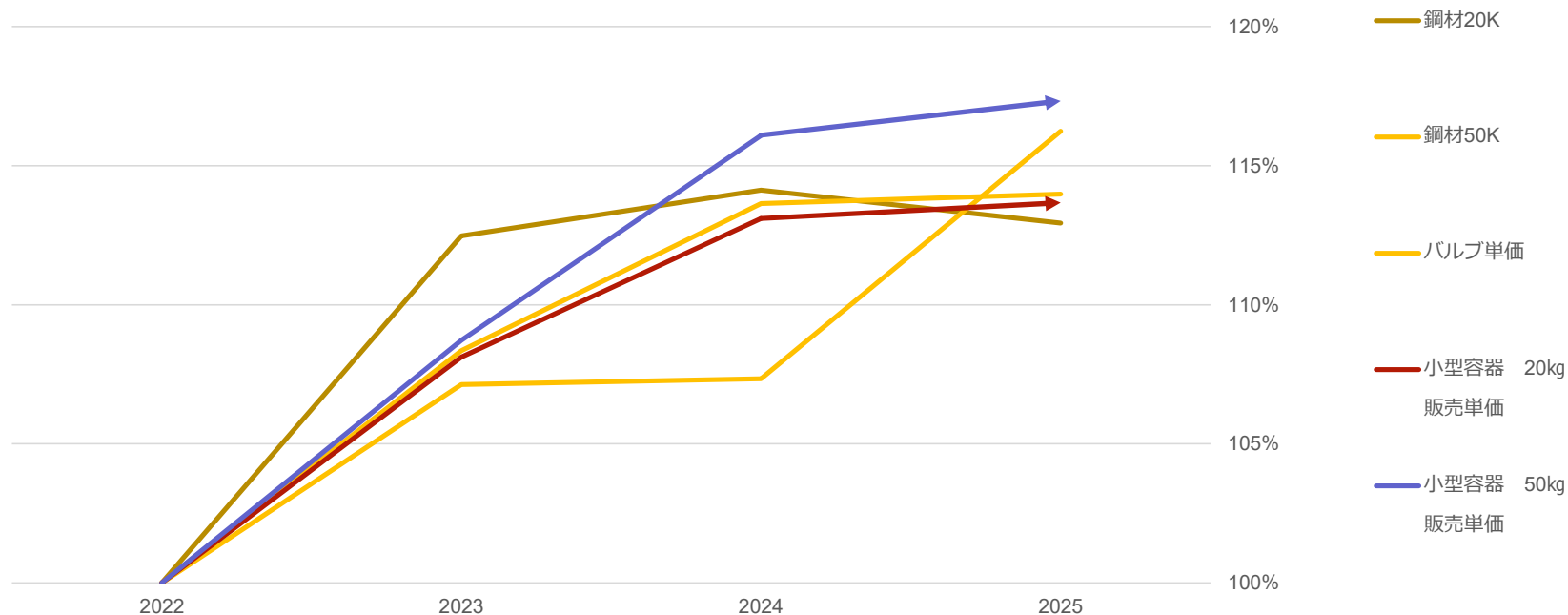
「中期経営計画」の収益力の強化への取組として、以下の方針を掲げ対応いたしました。  
下線の項目について、一定の成果があったものと自己分析しております。

項目	重点取組方針	内容	評価
収益力の強化	生産工程の一層の省力化、省人化および効率化によるコスト削減	○ 工場における設備更新・各種工程自動化推進による生産性向上	△
	製品の性能、品質優位性の確保による他社製品との差別化	○ LPガス小型容器の軽量化、飼料タンクの品質改良	△
	製品の拡充、新製品の開発、新事業領域の開拓による売上拡大	○ 次世代高圧ガス容器としての複合容器の製品開発拡充・販売機種多様化 ○ 「スマートガスネットワーク構想」に搭載する高圧ガス容器の開発と国内外での実証実験開始に向けた認可の取得	△
	営業利益率の向上による財務体質の更なる強化	○ <u>コスト上昇に連動した適切な販売価格の設定</u> ○ <u>全社をあげたローコストオペレーションへの不断の取組</u>	○

## 主力製品の値上げ（コスト上昇に連動した適切な販売価格の設定）

鋼材・バルブを始めとする諸資材の値上りにともない、お取引先に説明・ご理解いただいたうえ、コスト上昇に連動した適切な販売価格の設定に努めてまいりました。

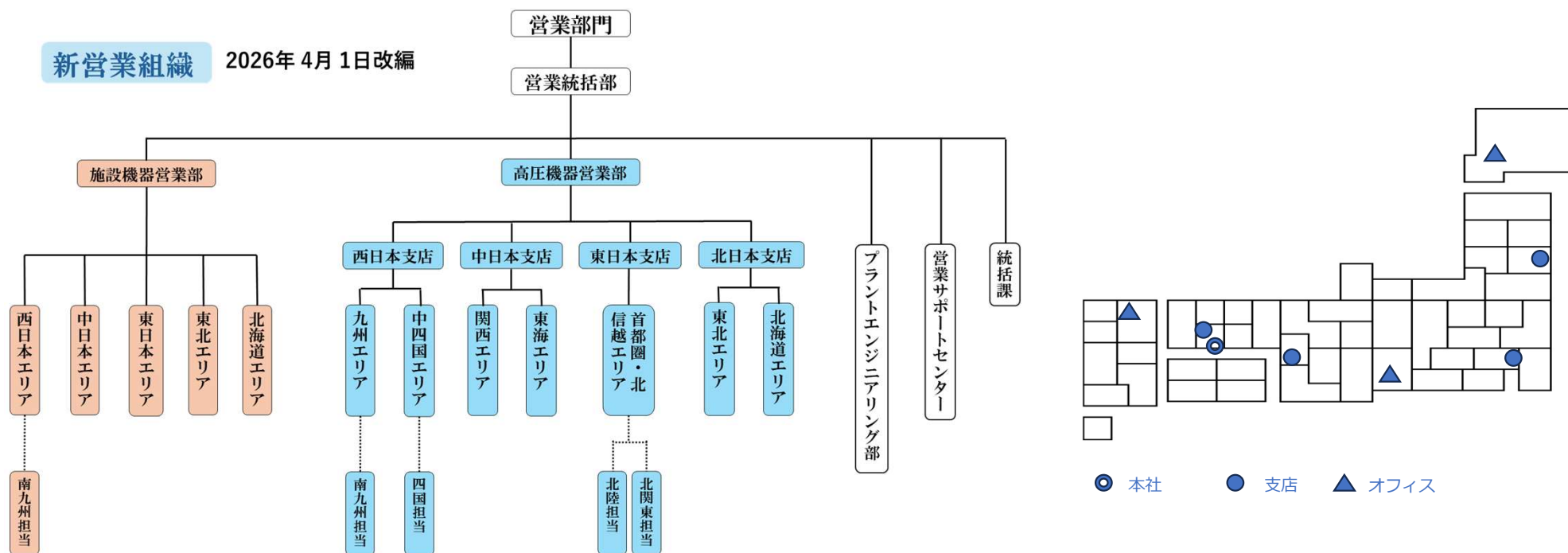
資材（鋼材・バルブ）価格 と 販売価格の推移  
(2022年を100%とした場合の推移)



## 営業組織の改編（全社をあげたローコストオペレーションへの不断の取り組み）

中期経営計画の取組みの一環として、2026年4月1日より、お取引先へのレスポンス向上・業務効率化を目的とした営業組織の改編を行いました。

全国10箇所の支店・営業所や組織を統廃合するとともに本社内に営業サポートセンターを開設、営業戦略の徹底や注文から配送の迅速化等の充実を図り、収益力の向上につなげていく方針です。



## 業績推移（過去8期）

中長期的には、徐々に改善傾向を辿っております。  
 今後とも、お取引先とのリレーションを大切に、安定的な売上高を維持・拡大するとともに、より効率的な業務運営により利益率の向上に努め、配当等の株主還元により株価にも反映できるよう検討をすすめてまいります。

連結ベースの損益状況等の推移

決算年月	決算月	2019/3	2020/3	2021/3	2022/4	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3
売上高	(百万円)	12,784	12,992	12,878	12,866	13,389	13,332	13,843	13,762
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	64	90	124	132	199	206	376	312
1株あたり純資産	(円)	1,201	1,241	1,340	1,325	1,392	1,563	1,657	1,827
1株あたり当期純利益	(円)	18.91	26.85	38.16	40.84	61.31	63.46	115.83	95.92
ROE	(%)	1.53	2.22	2.96	3.07	4.51	4.29	7.19	5.51
PBR	(倍)	0.46	0.29	0.68	0.46	0.47	0.40	0.31	0.47
PER	(倍)	29.51	13.59	23.95	14.94	10.65	9.85	4.42	8.86
期末株価	(円)	558	365	914	610	653	625	512	850
1株あたり配当額	(円)	10	15	15	15	15	18	20	23

## 4. 「資本コストや株価を意識した経営の実現」について

## 「資本コストや株価を意識した経営の実現」についての自己評価

EVAスプレッド・エクイティスプレッドはマイナスとなっており、株主の期待（資本コスト）に対し、改善傾向にあるものの、依然として収益面は応えられていない状況です。損益状況が改善しつつあるものの、PBRは1.0倍未満となっており、引き続き改善に向けた施策の積み重ねが必要と考えます。

### 現状分析

資本コスト	資本収益性	市場評価
<b>【WACC】</b> →5.42% <b>【株主資本コスト】</b> →8.08%	<b>【ROIC】</b> →3.32% <b>【ROE】</b> →5.51%	<b>【株価】</b> → 850円 <b>【PBR】</b> → 0.47倍 <b>【PER】</b> → 8.86倍
EVA スプレッド (ROIC - WACC) →		▲ 2.1%
エクイティスプレッド (ROE - 株主資本コスト) →		▲2.57%

※当社が5/13に公表した決算短信等に基づき試算したもの

## 実現に向けた対応方針

継続的なROEの改善	当期純利益率の向上	収益力強化に向けた取組み
	財務レバレッジの向上	有利子負債（長期借入金等）導入の検討 株主還元への前向きな取組み
株主資本コストの減少	適切な情報開示	当社の経営に関する適時適切な開示

## 実施事項

1	1株あたり配当金の増加（2024年3月期【3円】、2025年3月期【2円】、2026年3月期【3円】）
2	役員の自社株（Restricted Stock）報酬制度の導入（2025年第75回定時株主総会で承認後、2025年7月より導入）
3	有価証券報告書の株主総会前開示（2025年6月～）
4	IRの実施（2026年5月、本件） 2026年11月にも実施予定

## 中国工業(株) 株価推移 (過去5年間)

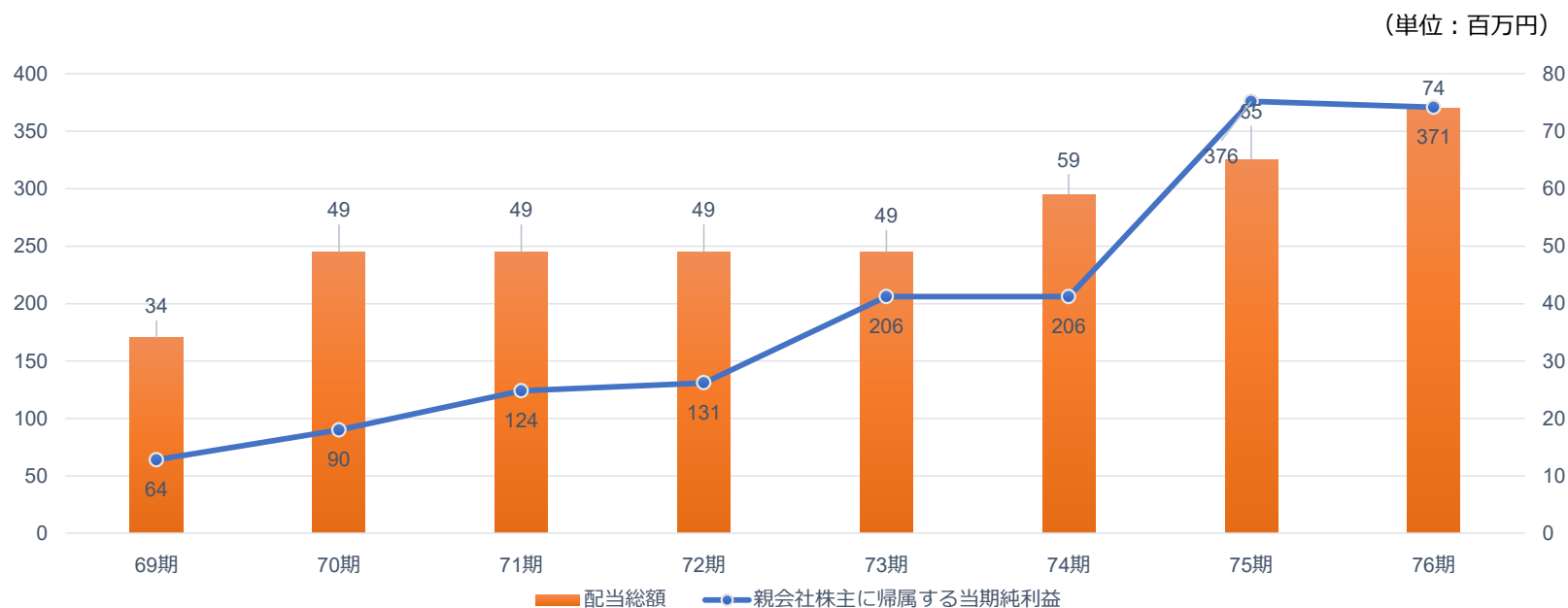
2024年1月に株主優待制度廃止を表明。いったん株価は下落傾向となったものの、2025年半ばより上昇基調となっております。



## 5. 株主還元

## 株主還元

財務安定性に配慮しつつ、株主の皆さまへの還元として1株あたりの配当金増加を図ります。



決算年月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月
連結配当性向 (%)	52.9	55.9	39.3	36.7	24.5	28.4	17.3	24.0
一株当たり年間配当金 (円)	10	15	15	15	15	18	20	23

## 6. サステナビリティ、及び社会貢献活動

## SDGs等の実現に向けた取り組み

人権 労働	適切な休暇制度、過度な長時間労働の禁止 ハラスメントについて就業規則に明記・相談窓口を設置	 
環境	ISO14001の取得、環境マネジメント実施 有害物質を含む廃棄物の種類・量の把握、定期的進捗管理 温室効果ガス排出量削減を意識した設備の更新 省エネに向けた計画の策定と推進、リサイクル技術の開発	      
公正な 事業慣行	不正競争行為を含む行動規範の整備・社内周知 特許取得・意匠登録による知的財産の管理	  
製品 サービス	ISO9001の取得、品質マネジメントの実施 顧客クレームの把握・社内周知・対応の徹底	



MS  
CM007



ISO 9001  
97QR-053



MS  
CM007



07ER-655

対象商品：高圧機器製品（溶接容器、貯槽、配管）

登録事業場：本社（製造部門を含む）



## 社会貢献活動

地域との絆を深め、地域に貢献し、地域の皆さまから愛されることを目標としております。

- ・ 社外清掃

毎年5月・11月の年2回、当社工場周辺の除草や側溝の清掃を実施しております。

- ・ 献血の実施

定期的に献血を実施し、毎回30名程度の参加しております。

- ・ 地域スポーツイベントへの協賛、参加

毎年9月開催の「せとうちジャーニーウォーク」30kmコース（マリンパーク川原石（呉市）～ハノーバー庭園（広島市））に参加、協賛として本イベントをサポートしました。

- ・ 消防団協力事業所の認定

消防団協力事務所としての認定を受けています。消防団に入団の従業員には勤務に優先して活動してもらっています。

- ・ 災害時における物資の供給態勢の確保

災害発生時にLPガス容器を迅速に供給することについて、広島県と協定を締結しております。



ご清聴ありがとうございました

投資家の皆さまのご期待に沿えるよう  
グループ社員一同、今後とも努力してまいります

お問合せ先等

中国工業株式会社 経営管理部  
TEL 0823 - 72 - 1322

本資料に記載されている計画や見通しなどは、本計画作成・公表時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや想定外の事項が内在しております。

従いまして、これらの要因により、実際の業績等は本計画に記載のものとは異なる結果となる可能性がありますこと、予めご了承ください。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断により行われるようお願い致します。